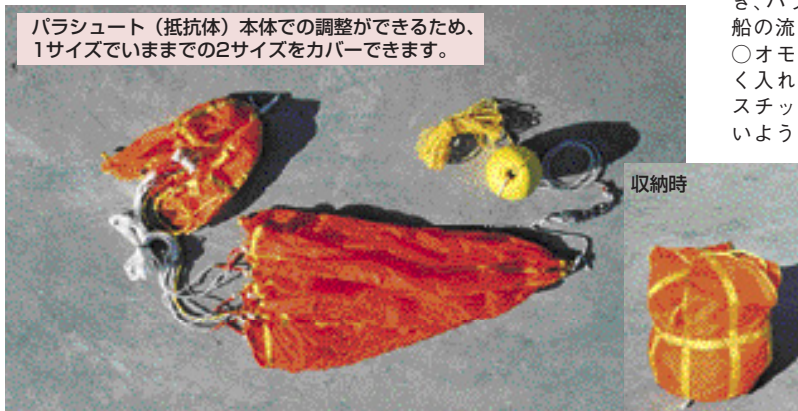


## パラシュート型アンカー (FMSタイプ& FCタイプ)

### 3. 流し釣りに使用するパラシュート型アンカー

投入、展開、引揚げ作業の基本に基づき、より操りやすい機能と付加価値を付けた、本格的な操業用パラシュート型アンカー (FMSタイプ) 登場!

パラシュート (抵抗体) 本体での調整ができるため、1サイズでいままでの2サイズをカバーできます。



収納時

#### ●パラシュート型アンカー (FMSタイプ)

- 水切りのよい収納袋をパラシュート本体付けにしました。このことにより投入、収納を容易にしました。
- センターコードを付加し、このコードを一段階引き込んだ位置でセットすることにより、サイズを1ランク小さくすることができ、パラシュート本体での調節を可能にしました。このことにより船の流れるスピードを大幅にコントロールできます。
- オモリを錆ないステンレスチェーンにして、パラシュートを深く入れる場合にオモリを付け加えやすく、さらにブイを固いプラスチック製から柔らかいアバにし、取り扱いやすく船を痛めにくいようにしました。

型式	直径の調整範囲	船の適合サイズ	価格
FC-3N	3~2.5m	22~27フィート	¥101,200
FC-3.5N	3.5~3m	25~31フィート	¥110,000
FC-4N	4~3.5m	28~37フィート	¥118,800

船の適合サイズが2タイプにあてはまる場合、船体面積が有り、風に流されやすい船は大きい方のサイズ、漁船型のように船体面積が少なく、喫水が深く入っている船は小さい方のサイズをお選び下さい。

FMSタイプには、パラシュート本体、オモリ (ステンレスチェーン)、ブイ連結索、ブイ、引揚索がセットされ、本体付きの収納袋に入っています。



船首を風上に向け船を停止します。次に手順に添ってパラシュートを収納した収納袋ごと船首より投げ込みます。曳き索があらかじめクリートに固定された長さだけ繰り出された後、パラシュートはブイから水の抵抗で収納袋から引き出されます。

ブイの次にオモリ、パラシュート本体と徐々に収納袋から引き出されパラシュートはどこも絡むことなく速やかに展開されようします。この時、ブイの流れを見ながら引揚げ索が船側から引きつらないで出るよう注意することが必要です。

パラシュートが完全に展開したら引揚げ索が少したるむ長さで船体側クリートに固定することで投入は完了します。左側に見えているのがパラシュート付の収納袋、使用時には収納形態のまま投入できる優れた機能をもつアイテムです。



曳き索を船の長さ分 (7m) 出したところでクリートして、パラシュート型アンカーを展開しています。船のサイズは23フィート、パラシュートのサイズは直径3m、風速は3m/s、潮流はほとんどない状態ですが、船とパラシュートの適合バランスはベストのようです。引揚げ作業は、引揚げロープを手繰り寄せ、ブイ側から引揚げると安全かつ簡単に作業を完了することができます。

風動実験でパラシュート型アンカーに風をはらませ展開しています。パラシュート中央に位置するセンターコードを少し引いた写真ですが、全開した時よりも効率のよい一番大きな抵抗を持った状態です。もう少しセンターコードを引き込むとパラシュートの外径は小さくなり、抵抗はどんどん小さくなっていきます。

遊漁船・大型レジャー船 (38フィート以上) にはFCタイプをおすすめします。

#### ●パラシュート型アンカー (FCタイプ)

FCタイプは、操業用パラシュート型アンカーとして、荒天時に使用できる強度をもったタイプとして製造されています。主に業務用として使用されるため、パラシュート (抵抗体) だけの販売でその他はオプションとなります。船のサイズや操業の用途に合わせ、セットしますのでご用命ください。

型式	船の適合サイズ	価格
4.5	5~8トン	-----
5	8~10トン	-----
6	10~15トン	-----
7	15~25トン	-----
8	20~30トン	-----
9	25~35トン	-----

※船の適合サイズは、船の長さではなく、重量 (排水量) を目安としてお選びください。  
※曳き索は船のアンカーロープをご利用ください。



Option  
●引揚索、ブイ、ブイ連結索、オモリ

※荒天時とは、船舶が操業できる最大の海の状況下のシケの範囲までで、それをこえる荒天非常時のことではありません。